

『歴代寶案』校訂本解説集

目次

グラビア

目次

校訂本全十五冊

歴代寶案構成図

凡例

〈解説〉

第一集

『歴代寶案』第一集解説(和田久徳)……………1

第二集

校訂本 第三冊・第四冊解説(神田信夫)……………15

校訂本 第五冊解説(生田 滋)……………27

校訂本 第六冊解説(糸数兼治)……………33

校訂本 第七冊・第八冊解説(濱下武志)……………39

校訂本 第九冊・十冊解説(金城正篤)……………47

校訂本 第十一・第十二冊解説(小島晋治)……………61

校訂本 第十三・十四冊解説(西里喜行)……………75

第三集

『歴代寶案』校訂本第十五冊 解説(西里喜行)……………91

付録

〈存巻表〉

第一集

校訂本 第一冊……………115

校訂本 第二冊……………116

第二集

校訂本 第三冊・四冊・第二集目録上下本……………117

校訂本 第五冊……………118

校訂本 第六冊……………119

校訂本 第七・八冊……………120

校訂本 第九冊……………121

校訂本 第十冊……………122

校訂本 第十一・十二冊……………123

校訂本 第十三・十四冊……………124

第三集

校訂本 第十五冊……………125

別集・咨集・第二集目録乾坤本……………126

『歴代寶案』の構成と校訂本の関係……………126

凡例

一 本書は『歴代寶案』校訂本第一集・第二集・第三集・別集（全十五冊 永樂二二年〜同治六年 一四二四年〜一八六七年）に収録された校訂本の解説をまとめて一冊とするものである。

一 解説の担当者と収録箇所は下記のとおりである。なお解説が二冊にわたる場合にのみ解説の収録箇所を括弧内に記した。

第一集

和田久徳 『歴代寶案』第一集解説（第二冊）

第二集

神田信夫 校訂本 第三冊・第四冊解説（第四冊）

生田 滋 校訂本 第五冊解説

糸数兼治 校訂本 第六冊解説

濱下武志 校訂本 第七冊・第八冊解説（第八冊）

金城正篤 校訂本 第九冊・十冊解説（第十冊）

小島晋治 校訂本 第十一・第十二冊解説（第十二冊）

西里喜行 校訂本 第十三・十四冊解説（第十四冊）

第三集・別集

西里喜行 『歴代寶案』校訂本第十五冊 解説

一 解説を掲載するにあたっては、左記の方針に則った。

1 解説は原文をそのまま掲載し、収録書名と頁を末尾に附した。ただし、あきらかな誤字・脱字については訂正した。
2 全体の体裁を統一した。そのため一行の文字数・一頁の行数・段落及び表の位置などが原文とは異なる。

一 各校訂本の担当者・収録年代・校訂協力者・発行年月日等を示した表「校訂本全十五冊」と「歴代宝案構成図」を目次の次に附した。

一 巻末に校訂本各冊に掲載した諸異本の残存状況と底本を示した「存巻表」をまとめて附した。「存巻表」の諸異本の略称は下記のとおりである。

鎌倉芳太郎氏影印本 鎌倉本（鎌）

同 筆写本（第一集巻四一） 鎌写

東恩納寛淳氏影印本 東

旧冲縄県立図書館筆写本 県図本（県）

同 重複本（第一集巻一） 県乙

東恩納文庫筆写本 東写

同 重複本（第一集巻一四） 東写乙

横山重氏筆写本 横

台湾大学蔵写本 台大本（台）

同	重複本	台乙
同	二集歴代宝案目録上下	上下
同	二集歴代宝案目録乾坤	乾坤
	東京大学史料編纂所筆写本	史
	法政大学沖縄文化研究所蔵楚南家文書	
	二集歴代宝案目録乾坤	楚南家本

一 存巻表の後に『歴代寶案』の構成と校訂本の関係」を附した。

歴代宝案編集参考資料 16

『歴代寶案』校訂本解説集

2017年3月21日発行

編 集 沖縄県教育庁文化財課 史料編集班
〒901-1105 沖縄県南風原町新川 148-3
Tel 098-888-3939

発 行 沖縄県教育委員会

印 刷 株式会社 尚生堂
〒901-2114 沖縄県浦添市安波茶 1-6-3
Tel 098-876-2232
